



「生まれは郡山、結婚して富岡に行つたんだよ。最初に教えた教え子は、もう80か81歳になっているねえ。当時は戦争中で勉強どころじゃなかつた。毎日、毎日、農家の手伝いだったよ。みんなやんちゃで(笑)」今年の12月で99歳になる坂本竹枝先生の笑顔は相変わらず無邪気だ。退職後も婦人会の会長や池坊の教授として活躍。お花の生徒も100人を越える。「なんだか爆発するつて、慌てて着の身着のままで逃げてきて、それ以来富岡には帰っていない」と寂しげに話してくれた。現在は郡山市に住む長女宅に次男と一緒に避難生活をしている。「長生きの秘訣?なんだなあ、何でも食べることかなあ。娘は料理が本当に上手だから。今の楽しみはね週に2回ディサービスに行くことなんだよ。みんないい人たちでね」今でも自分のことは自分でやり、おしゃれに気を遣い、そして相手を思いやる、そんな気持ちがまわりを明るくし笑顔にする。歩く姿は、震災前の中央商店街を闊歩する姿そのままだ。竹枝先生、元気いっぱい!(吉田恵子)

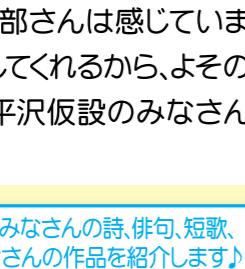
おらほの自治会長 このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。

平沢応急仮設住宅自治会長 阿部秀一さん



富岡では深谷に住んでいて、上下水道設備の仕事をしていた阿部さん。現在は川内村で除染の仕事をしています。國の方針に沿つての作業になるので、決められた範囲外の作業はできません。現場で仕事をしているからこそ復興への道のりの厳しさを肌で感じている様子でした。阿部さんは「これまで仮設で過ごしてきた時間より、これから仮設で過ごす時間が大変になるだろう」と話します。平沢仮設は、家族と離れてご年配の方が単身で住んでいる世帯が多く、そういう方々とつながって、仮設全体で助け合う環境をどうつくっていくかが今後の課題と阿部さんは感じています。「何をするにも仮設のみんなが協力してくれるから、よその会長より幸せだ」と笑顔で話す姿から、平沢仮設のみなさんを思う気持ちが伝わってきました。

みんなの広場 このコーナーでは、町民のみなさんの詩、俳句、短歌、写真、手作り品など、みなさんの作品を紹介します♪



富田仮設住宅で観賞用的巨大かぼちゃを育てている猪狩マサイさん。娘さんが仙台からわざわざ送ってくれた種をここまで大きく育てています。猪狩さんは「みんなの目の保養なんだ、これが私の仕事なんだ。これからも色々な観賞植物を育ててぐんだ」とお話ししてくれました。みなさんの散歩の楽しみが増えそうですね。

いってやっぺみてやっぺ お知らせコーナー

9月30日(日)午前8時~午後2時

開催場所 大玉村民運動場
住所:〒969-1301 安達郡大玉村大山字社山6-2

内 容 大玉村民運動会
主 催 大玉村民運動会実行委員会

*当日は会場周辺に駐車場はありませんので大玉中学校、大山小学校駐車場をご利用ください。
*駐車場からシャトルバスを随時運行いたします。
*路上駐車は御遠慮ください。

9月30日(日)午後1時30分~

開催場所 いわき市平字新田前6-10
内 容 富岡町生活復興支援いわき平交流拠点(仮)開所式

主 催 富岡町役場
*詳しい詳細は分かり次第お知らせいたします。TEL:050-3608-2864

10月1日(月)・8日(月)毎回午後4時~5時

開催場所 おだがいさまセンター
内 容 ハングル教室
主 催 おだがいさまセンター

*毎週月曜日午後4時~5時に開催いたします。
*月の最終月曜日はお休み致します。

■喫茶つづじ 主催:おだがいさまセンター

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| ● おだがいさまセンター | ● 南1丁目仮設集会所
(富岡側) |
| 9月29日・10月4日・
6日・11日・13日 | 9月29日・10月1日・
6日・8日・9日・13日 |
| ● 毎回午前10時~12時 | ● 每回午前10時~午後1時 |



おだがいさまセンター (富岡町生活復興支援センター)

運営 富岡町社会福祉協議会 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)
電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334 制作 バズ・クリエイターズ
ブログ http://odagaisama.com/ ツイッター http://twitter.com/odagaisama QRコードはこち



みてやっぺ!

「おだがいさまFM」全国へ~タブレット開通~

平成24年9月3日(月)、「富岡町町民コミュニティ支援システム」の運用が開始されました。ご希望された方に配布されたタブレット端末(以下タブレットとする)で町の様々な情報を見ることができます。平成24年3月11日に開局した富岡町の臨時災害FM「おだがいさまFM」もこのタブレットで聴くことができます(生放送ではなく録音した番組を配信していますので著作権の問題があり、曲をかけている部分等は省略され、番組の一部しか流れない場合があります)

のでご了承ください)。なお、みなさんに楽しんでいただける番組を作つていけるよう、できる限り努力していきます。全国にお住いのみなさんからのメッセージや近況など、「おだがいさまFM」にお寄せください。

タブレットです!

郵便 〒960-8041

郡山市富田町字若宮前32「おだがいさまFM」宛

メール odfm76.9@gmail.com FAX 024-935-3334

「おだがいさまFM」HPアドレス http://odfm.net/

FM番組表

月曜日～金曜日	午前 8 時～9 時	「おだがいさまわやかモーニング」
月曜日～金曜日	午後 7 時～9 時	「おだがいさまラジオランド」
土曜日	午後 1 時～2 時	「とみおか 76.9(セブンロック)」

おだがいさまFMの聴き方

1



電源を入れる

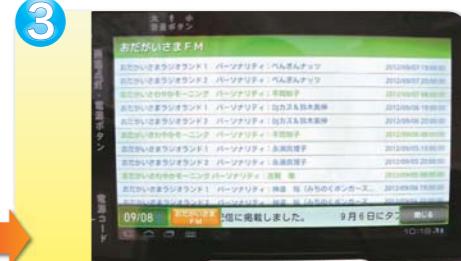
電源ボタン(左側面上部)を1秒以上押し続ける(電源が入って最初の画面が表示されるまで数秒かかります)

2



「おだがいさまFMボタン」を指で押す
画面左下オレンジ色の「おだがいさまFM」ボタン(日付右隣)を指で軽く押す

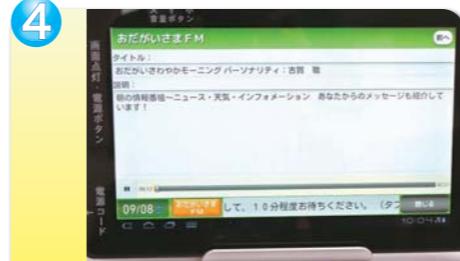
3



聴きたい番組を選ぶ

表示のある中から聴きたい番組タイトルを指で軽く押す

4



番組を聴く

FM録音再生画面が表示され、自動的に再生が始めます

5



音量を調節する

タブレット上部の「音量ボタン」を押して音量の調節を行う。左を押すと音量が大きくなり、右を押すと音量が小さくなります

6



イヤホンで聴くことができます

電源ボタンの下部にイヤホンジャックがありますので、周りを気にせずイヤホンで聴くこともできます(イヤホンは付属していません)

*上記番組表に入っていない特別番組も随時配信していく予定です。

*生放送では、月曜日～金曜日12時04分頃から「朗読の小部屋」という朗読番組を放送しています(現在タブレットでは聴くことができません)。生放送をお聴きになりたい方は、「サイマルラジオ」で聴けますのでインターネット検索サイトで「サイマルラジオ」で検索してみてください。

*生放送終了後、タブレットで聴くことができるようになるまで多少時間がかかりますのであらかじめご了承ください。

*タブレットの詳しい操作方法は、「タブレット端末利用マニュアル」をご覧ください。

*タブレットに関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

「富岡町町民コミュニティ支援システム事務局」 TEL 03-6667-6271、受付時間:月～金・9:00～17:15



タブレットです!

おだがいさまファーム開園!!

8月25日(土)、おだがいさまファームが開園しました。前々からの「富田仮設東側休耕田をお借りして畑にしたい!」という畠隊の願いが叶いました(*^_^*) 休耕田の為、水はけが悪かった土地を、株式会社クボタ様・南東北クボタ様にご協力いただき、明渠・耕運機が畑に入ります

運作業を繰り返し、とてもすばらしい畑になりました。当日は晴天下、一面の青々とした稻と「頑張ろう日本の農業!!」というのぼりが風に揺れる中、遠藤町長、南東北クボタの高橋会長、土地をお借りしている地主のみなさん、農業経営をされているアドバイザーのみなさん、そして富田のおだがいさまファームの開園を待ちしていた畠隊のみなさん、総勢40名程が参加しました。式典では、株式会社クボタ様より耕うん機と機械保管用倉庫の贈呈、おだがいさま



まファームの看板除幕が行われました。畠隊の猪狩さんは式典会場に一番乗りで到着され「私の貸してもらえる畑はどの部分かな?」とスタッフに尋ね、「畑、できるようになってよがつたね」とニッコリ笑って話される姿に、スタッフも思わず胸が熱くなりました。後日、畠の区画割を行い、早速キャベツや白菜の苗を植える畠隊のみなさんのイキイキとした姿が見られました。



8月28日(火)、通常の研修とは別に、ゲスト講師の高橋晃子様を迎えて、織りをする上で大切な糸を張る講習会を実施しました。また、8月末から染め織りに加え、仕立ての研修もスタートしました。これで一通りの工程の研修が行われるようになり、今後どんな作品が出来上がるか楽しみです。



福島市にある「富岡町さくらサロン」では、東京大学の柴田先生を講師に迎え、放射線に関する勉強会を定期的に開催しています。8月23日(木)、5回目の開催となった今回は、実際の除染の現状を勉強するため川内村へ視察にいくという内容で開催され、県北地方の借り上げ住宅にお住いの方々を中心に22名が参加しました。午前中は、川内村役場で遠藤村長や復興対策課井出課長、除染係の横田係長の話を聞いた後、横田さんの案内の下、庭の枝払いや表土すき取りなどの除染作業が行われた民家の様子や、村で設置した30,000m²もの広さの仮置き場を実際に見学しました。参加者は疑問に思った点を積極的に質問し、その一つ一つに的確に答える横田さんの姿にみ

なさん感心していました。昼食は営業を再会している「川泰」で懐かしい味に舌鼓を打ちながら一時の休息を思い思いに過ごしていました。午後は、平安時代初期に坂上田村麻呂が植えたとされる樹齢約1200年の「林の大杉」が敷地内にある秋元さんのお宅にお邪魔しました。秋元さんは、震災以降も米などを作り続け、写真や放射性セシウムなどの数値を記録し続け、自分たちが作る農作物は安全だということを、言葉だけでなく「数値」として記録に残すことで次の世代へとひきつづこうと努力されています。「富岡のみなさんのためにも今自分たちができる事をひとつひとつやっていきたい」という話にみなさんひきこまれていきました。充実した視察内容の中で「明日」を考える勉強会になりました。



24時間テレビに参加しました!

郡山のビッグパレットふくしまの屋外会場では、キャンドルJUNEさんのラブフォーニッポンが企画したイベントがありました。8月11日に開催された夏祭りの会場やおだがいさまセンターで皆さんに絵付けをしていただいたキャンドルを、郡山方部の各仮設等から参加したボランティア隊が「ありがとうございますおだがいさま」の文字に並べました。午後6時近く、ステージでは富岡町民 佐藤紫華子さんの詩集「原発難民の詩」を、富岡町音読クラブのメンバーが朗読しました。毎週水曜日の練習の成果を発揮しようと、詩の内容から涙がこぼれそうになるのを我慢して読みました。周囲が暗くなりキャンドルの灯が浮き上がると、集まつた人たちから歓声が上がりました。

ビッグパレットの中では、おだがいさまセンターがブースを一つ出させていただきました。「富岡町」の看板が掲げられ、夜ノ森の桜の写真(藤田一さん撮影)、緑が丘仮設内のちぎり絵グループの作品を展示したところ、会場に集まつたたくさんの方々が足をとめて観ていられました。ブースでは、センターなどで作っている住民の皆さんの「エコダラシ」も販売しましたが、二日間でほぼ作品は完売に近く、売り子(?)を勤めたセンター職員は棒のようになった足をさすりながら、それでも満面の笑み(ドヤ顔)でした。



押し花作品仕上げ

暑い日が続く8月28日(火)、29日(水)、好間応急仮設住宅、泉玉露応急仮設住宅において「味の素料理教室」が開催され、各仮設住宅にお住いの方や借り上げ住宅にお住いの方々合計39名が参加しました。メニューは「茄子と豚肉のそうめん」「餃子の皮のパリパリピザ」「コーヒー寒天」の3品です。いずれも「夏バテ防止メニュー」ということで大好評でした。調理グループごとに分かれ和気あいあいとした雰囲気に話も弾んでいました。試食時には「ゆっくりした時間を過ごせた」「楽しかった」との声もあり大満足の雰囲気で終了しました。



歩く人

『歩くということを考えたことがありますか?』…歩かないで起きた様々な問題、歩くことで防げる現代の病、正しい歩き方を知り、健康で楽しい毎日を過ごしませんか?』と題し、9月1日(土)・2日(日)におだがいさまセンター、南1丁目応急仮設住宅で「歩く講習会」が開催され、2日間で約50名が参加しました。講師の元ラグビー選手の大西一平氏、スポーツインストラクターの土井龍雄氏が参加した方々に自分に合った歩行をするために無理なくできるストレッチ法などを教えてくれました。参加したみなさんは「歩くことの大切さを改めて感じ、充実した時間を過ごしていました。



押し花作品仕上げ

9月3日(月)、郡山市にある「ふくしま絆フェ富岡」で、7月の花摘みウォーキングの時に摘んできた花を使って、押し花作品の仕上げ作業が行われました。参加者は「どう並べるか考えるのがとても楽しい!」と話しながら、自分で作った押し花をハガキにはって、世界に1つだけのハガキを仕上げていました。

県生涯学習講座～第1回～「故郷の焼き物を造ろう!」開催

8月27日(月)、おだがいさまセンターで県生涯学習課主催「避難者への学びの支援」として1回目の生涯学習講座が開かれました。今回は借り上げ住宅の方も多く、14名が参加して、湯呑、お皿、花瓶と思い思いの作品をつくりました。最後にはお茶を飲みながらの交流の時間もあり、みなさんとても楽しい様子でした。今回作った作品は1ヶ月ほどで焼きあがります。出来上がった作品を見るのが楽しみですね。

